時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

⑴　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

該当なし

⑵　時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

（単位：円）

区　　分	時　　価		
	レベル１	レベル２	レベル３
⑴　有価証券及び投資有価証券			
満期保有目的のもの	—	295,180,000	—
⑵　保証金	—	478,984,473	—
資　　産　　計	—	774,164,473	—
⑴　リース債務（※１）	—	2,930,029,061	—
負　　債　　計	—	2,930,029,061	—

（注１）　時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

資　産

⑴　有価証券及び投資有価証券

当機構が保有している地方債は市場での取引頻度が低く、活発な市場における相場価格とは認められないため、その時価をレベル２の時価に分類しております。

⑵　保証金

保証金のうち、契約終了までの期間が１年を超えるものについては、リスクフリーレートで割り引く割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

負　債

⑴　リース債務

元利金の合計額を、新規に同様のリース取引を行った場合に想定される利率で割り引く割引現在価値法により算定しており、レベル２の時価に分類しております。

（注２）　時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債のうちレベル３の時価に関する情報

該当なし

４　金銭債権の決算日後の償還予定額

（単位：円）

	１年以内	１年超２年以内	２年超３年以内	３年超４年以内
現金及び預金	743,016,212,400			
未収金	51,083,705,413			
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的のもの	100,000,000			200,000,000
合　　計	794,199,917,813			200,000,000

５　リース債務の決算日後の返済予定額

（単位：円）

	１年以内	１年超２年以内	２年超３年以内	３年超４年以内	４年超５年以内
リース債務	1,073,680,445	908,590,680	590,585,775	387,042,872	18,041,449

（有価証券関係）

満期保有目的の債券で時価のあるもの（令和７年３月31日）

（単位：円）

	種　　類	貸借対照表計上額	時　価	差　額
貸借対照表計上額が時価を超えるもの	地方債	300,000,000	295,180,000	△ 4,820,000
	小　　計	300,000,000	295,180,000	△ 4,820,000
合　　計		300,000,000	295,180,000	△ 4,820,000

（注３）　地方債の時価は、当事業年度末における市場価格に基づいております。

（退職給付関係）

１　採用している退職給付制度の概要

当機構は、確定給付型の退職一時金制度を設け、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

２　確定給付型の制度

簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付引当金	877,447,895円
退職給付費用	123,658,803
退職給付の支払額	△ 24,744,106
期末における退職給付引当金	976,362,592